

美川っ子

R4. 11. 21 文責 大達高弘

皇帝ダリアが教えてくれたこと

皇帝ダリアという花をご存じですか？
皇帝ダリアとは、別名コダチダリア（木立ダリア）とも呼ばれ、高さが5m程度にもなるキク科の植物です。その皇帝ダリアが、写真のように、きれいな花を咲かせました。実は、この皇帝ダリアは、学校の児童昇降口を出てすぐの所にある其原新聞店様の畑に植えられているものです。運動会の頃までは私の背丈ほどしかなかったのですが、わずか2か月余りで、4m近くにまで成長し、先日きれいな花を咲かせました。



この皇帝ダリアは、昨年度も今頃の時期にきれいな花を咲かせました。毎日少しずつ背を伸ばし、その背丈を4m近くにしたにもかかわらず、私は花が咲くまで、皇帝ダリアの存在にまったく気が付きませんでした。朝夕、毎日そばを通っていたので、確実に私の視界に入っていたはずですが、にもかかわらず、私は皇帝ダリアの存在に気がつきませんでした。なぜなのか。それはきっと、私自身がこの皇帝ダリアを見ようとしていなかったからだと思うのです。もし、私が注意深く見ていたら、きっと皇帝ダリアの存在、そしてその成長ぶりに気付いたでしょう。私は、その時、皇帝ダリアから「見ようとしなければ見えないものがあるんだよ」ということを教えられたような気がしました。

子どもたちは日々成長しています。たとえ1日の成長はごくわずかだとしても、学校で学び、友達とかかわり、家庭や地域でいろいろなことを経験しながら、必ず昨日よりも成長しているはずですが、そして、そうした日々の小さな成長を積み重ねながら、ある時、大きな花を咲かせます。それが何かの行事の時であったり、発表の場であったり、あるいはふとした瞬間であったり…。私たち大人はその花が咲いた時に、子どもの成長を実感することがよくあるのですが、普段の小さな成長にはなかなか気が付きません。なぜか。それは日々のその小さな成長を、目を凝らし、温かい眼差しで見ようとしていないからだと思うのです。もし、見ようと思って見れば、たとえわずかで小さな成長であっても、きっと見えるはずなんです。あまりに近過ぎて、かえって見えにくい、気付きにくいかもしれませんが、子どもたちの日々の小さな成長を見つけることができる、気付くことができる、そういう大人でありたいなあと思います。

昨年度、皇帝ダリアが教えてくれた「見ようとしなければ見えない。でも、見ようと思えば見える。」ということを意識しながら皇帝ダリアを見続けたからこそ、今年度はその成長の変化にも気付けたし、きれいな花を咲かせたことも見逃さずに済みました。

大切なことを教えてくれた皇帝ダリアに、ただただ感謝です。

租税教室～税について学ぶ～（6年生）

10月25日（水）、浜田市役所税務課の職員の方にお世話になり、租税教室を開催していただきました。社会科の公民分野の一環で、税金の種類や使い道について考えたり、もし税金がなかったらどうなるのかをDVDで確かめたりしました。自分達が学校で学ぶことに対しても多くの税金が使われていることを知り、その金額の大きさに驚いていました。（小学校6年間で1人当たり約500万円）

社会の一員として、税の意味、税の大切さについて考え、実感することができた有意義な時間となりました。



○税金がないと、大変なことになるんだなと思いました。
○ぼくたちが学校に通うのにたくさんの税金が使われていることに驚きました。

浜田市教育委員会ボランティア表彰

～「地域の子どもをみんなで守り、育てま賞」～

10月27日（木）、令和4年度 浜田市教育委員会ボランティア表彰「地域の子どもをみんなで守り、育てま賞」の表彰式がありました。この賞は、長年にわたって子どもたちの安全・安心を守るための見守り活動等を継続して行っている個人や団体に対して贈られるものです。今年度、美川地区子ども見守り隊の代表である石津公雄（いしづきみお）様が表彰されました。本当におめでとうございます。



ご存じの方も多いと思いますが、石津様は平成20度から青色回転パトロール隊代表になられ、平成28年度からは子ども見守り隊の代表も兼務され、登下校時の子どもたちの見守り活動はもちろん、夏休みには地区内のパトロールも続けられるなど、子どもたちの安全・安心の確保のために、献身的に活動してこられました。

表彰式では、児童代表の出江蒼汰さんが、日頃の見守り活動に対する感謝の気持ちを伝え、全校児童全員でお礼を言わせていただきました。学校では、自分の命は自分で守れるようになってほしいと願いながら安全指導を行っていますが、やはり保護者・地域の皆様方の温かい見守りがなければ、十分な安全確保はできません。石津様が表彰後におっしゃられた「美川、浜田、そして島根の宝である子どもたちの安全・安心のために」、これからも子どもたちのためにお力をお貸しただくとも、保護者・地域の皆様方にも、引き続き子どもたちの安全確保にご協力いただきますよう、お願いいたします。

浜田市連合音楽祭へ参加(3・4年生)

11月9日(水)、3年ぶりの開催となる浜田市小中学校連合音楽祭が石央文化ホールでありました。コロナ禍ということもあり、無観客・収録方式での音楽祭でした。観客席には誰もいない状態でステージに立って、合唱・合奏をしました。本来なら参加する全ての学校、そしてたくさんの保護者の前での発表となるのですが、残念ながら違う形での音楽祭となりました。しかし、素晴らしい音響設備、そして照明と、めったに立つことのできない石央文化ホールのステージでの演奏は、子どもたちにとって、心に残る貴重な体験になったようでした。



〇昼休みや授業中に一生懸命練習した結果、みんなうまくいったと思いました。歌はいつもより大きな声で歌っていてよかったです。合奏は、練習通り合わせることができました。みんな緊張したと思うけど、成功してよかったです。ホールはすごく響きました。

〇連合音楽祭がありました。見てくれる人は少なかったけど、みんな本気でやっていたし、いつも練習している場所よりも広くて、音が響いたりする所だったけど、みんな、きれいな声で歌ったり、きれいな音で演奏したりしていたので、思い出に残る音楽祭にできました。

音楽祭での1校当たりの発表時間は、出入りも含めてわずか8分間。たったこの8分間のために、3・4年生は10月になってからずっと練習を重ねてきたのでした。初めからうまくいったわけではありません。何度も何度も練習を繰り返す中で、少しずつ少しずつ全員の息と心が一つになり、美川小学校3・4年生の音が出来上がっていったのです。

本番を見ることはできませんので、校内では音楽祭前日に、全校児童が集まった校内壮行発表会を開き、全校児童・職員で3・4年生の発表を聴きました。真剣な表情の3・4年生は、本当に輝いていました。演奏はもちろん、何より、演奏にかける熱い思いが感じられ、聴いていて鳥肌が立ちました。

演奏を聴いた2年生は、その思いをメッセージとして紙に書き、3・4年生に届けました。

3・4年生が心といきを合わせていたから、楽しい気分になりました。まるで、えんそうの人みたいでした。

心を合わせてうたって、とてもきれいでした。3・4年生のえんそうは、音楽祭みたいでした。

こういうメッセージに後押しされ、3・4年生は本番に向かったのです。学校を代表して見事に発表してくれた3・4年生。その3・4年生に離れた場所から温かい声援を送った他の学年の子どもたち。みんなで取り組んだ素晴らしい音楽祭になりました。

少年自然の家研修(5年生)

11月16日(水)・17日(木)、5年生17名が2日間の少年自然の家研修に出かけました。コロナ禍のため実施が延期され、また日帰りでの研修となりましたが、【やるぞ! 笑顔・協力・友情】を合言葉に充実した2日間を過ごしました。

冒険の森、やぐら作り、炊飯活動、やぐらを使っての自由遊びと、普段の学校生活では体験することが出来ないいろいろな活動に取り組みました。2日間、17人の顔には笑顔が溢れ、やぐら作りや炊飯活動では誰もがしっかりと役割を果たしながら協力しました。様々な活動の中で、自分や友達のよさに気づき、これまで以上に友情を深めました。自分たちで決めた合言葉を、見事に体現しました。この経験が今後の学校生活、そして来年度の美川小学校の最高学年としての生活に必ずつながっていくと信じています。



12月の主な行事

- 1日(木) 外国語(支援員) SC来校日(PM)
- 2日(金) 委員会⑥
- 5日(月) みかわ人権集会
- 6日(火) 島根県学力調査(5・6年生)
- 8日(木) PTA運営委員会
- 13日(火) 美川地域保幼少中連絡協議会
- 15日(木) 全校テスト(国) 外国語(支援員) 個人懇談
- 16日(金) 個人懇談
- 20日(火) しめ縄作り交流会(5・6年生) ラブブック号
- 21日(水) 校外班会
- 22日(木) 大掃除
- 23日(金) 終業式 給食終了 13:30下校
- 26日(月) 冬季休業開始
- 29日(木) ~1月3日(火) 学校閉庁

